

営農ウィークリーNEWS

店舗前菜園に秋野菜の苗を定植

秋野菜の苗を定植する営農販売課職員



西南部経済センター内の遊休地を活用し、職員の研修を兼ねて、ブロッコリー、ハクサイなどを定植、ダイコン、コマツナなどを播種しました。

元肥は、窒素過多にならない生育を確保するため、速効性と緩効性の両方の窒素を配合した「ふあいとエース」を施用しました。また、微生物層の充実を図るためJA京都中央で加工販売しています竹粉「京の竹」や、通気性、保肥力向上が図れる竹炭「京竹炭」も試験しています。

土壌のpH、ECを測定する齊藤TAC担当

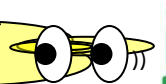
植え付け前に、土壌のpHを測定し、栽培する作物にとって適正な土壌pHになるよう「セルカ」を施用しました。また、残存肥料がないかEC（電気伝導度；土壌のおおよその残存窒素肥料がわかります）も測定し、元肥の量を決めました。



—TAC information—

大原野・乙訓ライスセンター

光選別機稼働開始!!!



平成28年産キヌヒカリ(伏見区)

選別前

選別後



今年度より、大原野・乙訓ライスセンターに、光選別機が導入され、ついに稼働が開始されました!!!
しかし、光選別機については誤った認識が多く、注意しなければならないことがあります!!!!!!

それは、光選別機で選別すれば「規格外」「3等」が「1等」になる訳では、決してありません!!!!!!

写真の様に、「斑点米」は割と綺麗に選別ができませんが、「乳白、背・腹白粒」などは、選別されにくく残ってしまいます……。